



岐阜市

議会だより

平成30年10月25日発行 発行責任者: 岐阜市議会議長 編集: 議会広報特別委員会

第59号

【主な内容】

| | |
|-----------------|-----------------|
| 子ども議会……………2 | 一般質問（8人が登壇）……10 |
| 7月～9月会議で決めたこと…5 | 市民の声……………15 |
| どえな予算のあと? ……6 | 議会だよりクイズ……………16 |
| 委員会レポート……………8 | |



▲平成30年9月23日 柳田小・保・地区民合同運動会

秋晴れのすがすがしい天気の中、小学校1・2年生による元気いっぱいの「GENKIMAN」のダンスで会場にいる皆さんも元気（GENKI）をもらいました。

壱岐市 子ども議会 開催

平成30年
8月29日



任命書の交付（郷ノ浦中学校 長門虎太郎議員）

勝本中学校

川添 友也 議員 川上 陽子 議員
坂本 菖 議員 大野 勇将 議員



質問

- ①市が今一番力を入れている、観光に対する活動は何か。一番訪れてほしい観光名所はどこか。
- ②壱岐を訪れる外国人観光客数は年間何人か。その方々の過ごし方は。市作成の「外国人観光客対応マニュアル」を使用した方からの意見を聞きたい。

提言

- ①島内の観光地を訪れスタンプを集めることで、特産物を渡す「特典付きスタンプラリー」、いい写真が撮れる地点を地図やパンフレットに表示などする「インスタ映えスポット」、浴衣の貸し付け、新鮮な海産物が簡単に食べられるエリアの製作、壱岐の写真や島外のバスにラッピングしてもらう、などと観光名所の活性化につながる。
- ②港や空港、案内所、観光地などに外国人が活用できるパンフレットや地図をおいてはどうか。イラストや英語、中国語の文は中高校生が協力できる。「外国人向け滞在型プラン」を提案することで、日本だけでなく壱岐の良さも知ってもらえる。

答弁

- ①一番力を入れている取り組みは、少しでも長く壱岐に居ていただく、滞在型観光。滞在時間を長くしていただくため、御朱印めぐり、体験型観光の支援をしており、今後イルカパークの再整備を中心とした地域振興を進める。一つの観光名所に観光客が集中することより、壱岐全体を満喫していただくことに力を入れている。
- ②外国人観光客数は、平成24年度は90人だったが平成29年度は1,253人で、5年間で15倍に増えたことになる。壱岐の食、豊かな自然、歴史を感じる神社など旅行目的によって様々に過ごされている。「マニュアル」を利用した方からは、「どのような対応をすればよいか全くわからなかったけれど、不安が減った。インバウンドに前向きな気持ちになった」などの感想をいただいている。

芦辺中学校

大井陽香理 議員 井本 涼太 議員
岡田莉緒奈 議員 平田 真心 議員



質問

- ①待機児童問題や地元の保育所に預けられず他地区の保育所に通うことがなぜ起こるのか。職場で子どもを預かる保育園のある企業は島内にいくつか。
- ②障がい者の方が生きがいを持って働けたり、積極的に障がい者を雇用したりしている施設や企業は、島内にいくつかあるか。

提言

- ①保育所、幼稚園の空き状況を定期的にホームページで知らせる取り組みはどうか。また、家庭や職場から遠い保育所や幼稚園へ通園する場合、家の近くまで保育園バスを出したり送迎サービスをするなど子育ての助けになる。父母の出退勤を変えることも工夫のひとつ。これらの活動を「子育て支援IKi」として取り組んでほしい。
- ②若者からお年寄りまで幅広い年齢の方が登録できる「ボランティアバンクIKi」を作ってはどうか。いくらかの謝礼を受け取る仕組みにしておけば、仕事をしてもらう方は気兼ねなく、仕事をする方にも責任が生まれる。話相手や庭の清掃、農作業を通じて、地域や人のためになることを実感しいろいろな人と交流するチャンスが生まれる。

答弁

- ①保育所や幼稚園は校区という考え方がない。乳児や幼児は送迎が前提なので、保護者の勤務先が近いなどの理由で、保護者の便利のいい希望する保育所へ入所できることになっている。市内の職場で保育園を持っている会社は、郷ノ浦と石田に1事業所ずつ、計2事業所が保育園を持っている。
- ②市内の就労支援の障害福祉サービスとして、就労継続支援の事業所が3か所あり、102人が通所あるいは就労している。積極的に雇用している職場は、ハローワーク壱岐の調べで平成29年6月1日現在、従業員数50人以上で報告義務がある会社が壱岐に15社ある。そのうち9社で28人を雇用しており、雇用率は1.77%で法定雇用率2.0%に少し足りない状況。壱岐市役所には障がい者の方を7人雇用しており、雇用率2.67%。

郷ノ浦中学校

長門虎太郎 議員 松山 颯大 議員
篠原 望綺 議員 柴田嘉那子 議員



質問

- ①空き家を活用している団体はあるか。また市の支援内容は。
- ②「彦岐市島外スポーツ団体等誘致促進助成」を利用する団体数は。サイクルフェスタ、新春マラソン、ウルトラマラソン以外のイベント計画があるか。
- ③海外からの観光客など多種多様なお客様のためにしている市の取り組みは。

提言

- ①空き家を民泊、店、インスタ映えスポット、カフェなどに建てかえを提案する。景観がよくなり、憩いの場として地域活性化にもなる。補助金で援助を。
- ②大谷総合グラウンドを全天候型タータントラックにしたり、ほかにスポーツ施設を増やしたりして、スポーツイベントをすることで更に集客が望める。彦岐は島外に比バスポート施設が少ないと感じる。子どもでも気軽に使える施設が増えれば助成金を使って合宿に来る人も増えるのではないかと。
- ③彦岐島内の観光をサポートする「彦岐アプリ」を作っているかどうか。観光地の説明だけでなく、食事スポットの情報提供、船の情報、多言語機能などがあればアプリ1つで快適な彦岐観光につながる。

答弁

- ①市内に772軒の利用可能な空き家があると思われる。郷ノ浦には福岡のIT企業のウェブコンサルティング業務が古民家を改修し8人を雇用。勝本には、東京のIT企業が木造3階建ての元旅館をゲストハウスに改修、芦辺には古民家を改修し外国人向け相部屋宿泊施設、石田には東京都の税理士法人が、元旅館を事務所として再生。いずれも有人国境離島法による創業または事業の拡大を推進するもので、設備や建物改修費、新規雇用の人件費等、事業資金の一部を補助している。
- ②助成制度の利用は、平成27年度から29年度までの3か年で587件、9965人が利用。1位サッカー、2位バレー、3位野球の順。新たなスポーツイベントの計画も大事だが、現在実施しているイベントの参加者を増やしていく取り組み強化がより重要と考えている。
- ③外国人観光客の受け入れ環境整備として、外国語パンフレットの作成等している。スマートフォンからアプリを無料でダウンロードして使用する彦岐の観光情報、温泉ガイドアプリを平成28年から始め、日本語以外に英語、中国語、韓国語に対応している。市内の宿泊施設や飲食店、交通事業者等の観光関係事業者に対して外国語講座やおもてなし講座をして受け入れ態勢の強化をしている。

再質問

平成28年度の子ども議会で勝本中が防災アプリについて提言していた。どうなっているのか。

答弁

研究したいと答弁していたが、まだ指示していない。まず、どのような使い方ができるのか勉強したい。

石田中学校

赤木 利玖 議員 久田 悠真 議員
松永 彩花 議員 佐藤 もえ 議員



質問

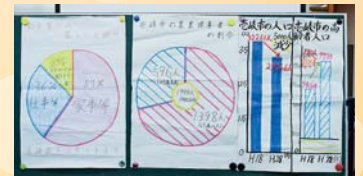
- ①今後増加する高齢者のマンパワーの活用について、見通しを教えてください。
- ②高齢化している農業を維持していくための取り組みを教えてください。
- ③身近に生活している独居老人の方が、買い物したり友達と楽しい時間を過ごすためのサービスがあるか教えてください。

提言

- ①学校の空き教室を利用して、高齢者の知識や知恵を活用し、元気な方、要支援の方などに会合や軽度のリハビリ場にできないか。生徒と交流することで、世代間の学習の場、交流の場にもなる。
- ②JA等と協力して、技術を提供する代わりに若い労働力を取り入れてはどうか。若者には、空き家をリフォームして無料か低料金で提供。Iターンや留学生の受け入れのため、農業大学校や研修センターを誘致して彦岐の営農者の知識を活用する必要がある。
- ③外出が難しい要介護の方のリストを作成し、定期的にお話、ハンドマッサージ、簡単なお手伝いをするボランティアグループの運営はどうか。また、公共交通機関が連携して高齢者へのサービスをサポートし、情報通信ネットワークを整備してネットで不便を補っているかどうか。スーパーや病院を巡るバスやジャンボタクシーを運行し、待ち時間に買い物をし、交通費は病院、スーパー、行政で持ち合う方法などがある。福祉施設と学校が連携し、彦岐市民が高齢者支援の知識か技術を身につける環境をつくる必要がある。市民が気軽に高齢者へのボランティアや知識を受け継ぐ縦の交流を活発にしていけばよい。

答弁

- ①高齢者マンパワーは、彦岐市シルバー人材センターや高齢者向けの社会福祉講座、スポーツ大会などを開催する老人クラブ活動に支援をしている。既存の福祉、介護サービスに加え、高齢者のマンパワーを含めた地域住民主体の自主的な取り組みや、ボランティア活動も重要な役割を果たすことが求められることから、その担い手として大いに期待している。
- ②農家の高齢化に伴って農地が荒れていくのを防ぐため、農地の貸し借りを進めたり、ある一定のまとまりのある地域や集落で組織を作って、農業に取り組む方法を推進したりしている。
- ③体が不自由な高齢者、ひとり暮らしの高齢者に対する支援として、リフトつき車両を利用して、医療機関等との間を送迎する事業、ひとり暮らしや支援を必要とする高齢者へ火災報知器、自動消火器の設置を支援する事業をしている。また、社会福祉協議会で高齢者サロンづくりを推進してもらっている。自治公民館に福祉保健部の設置をお願いして、さりげない見守り事業の推進もしている。介護保険事業では、通所型サービス、訪問型サービス、配食サービスがある。



彦岐市子ども宣言の決議

私たちが生活している社会は、情報化が進み、生活が大きく変化するとともに、環境問題や少子高齢化の問題、頻発する自然災害など多くの課題を抱えています。私たちは子ども議会の開催を機に中学生の立場で、彦岐市の現状をもとにしてこれからの彦岐市のことについて考えてみました。

私たちの先輩が守り育ててきた伝統や文化、海に囲まれた豊かな自然や歴史ある彦岐の文化を守り、安全・安心で住みやすく、活気があり「魅力あふれる島・彦岐」にするために、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

記

- 1、地域の一員として、誰にでも明るく元気なあいさつを心がけ、周りの人とのつながりを深めます。
- 2、彦岐の美しく魅力ある自然を守り未来に残せるよう、環境美化に積極的に取り組み、また、安全・安心な住みよいまちづくりのために、防災に努めます。
- 3、次代を担う世代として、自らの夢を持ち、彦岐の将来を見据えて、課題を解決できるように、自分たちができることから取り組みます。

以上宣言いたします。

平成30年8月29日

長崎県彦岐市子ども議会



芦辺中学校 大井陽香理議員



全会一致で可決

市長あいさつ

この議場で皆さんが質問、提言されたことは、彦岐市の将来に向けて、安全で住みやすく、明るいまちづくりのために一生懸命考えていただいたことです。しっかりと自分の意見を発言される皆さんを見て、私も非常に頼もしく思いました。今日の経験を大いに生かし、彦岐市の今、そして将来に大に関心を持っていただいて、それぞれの学校や地域で活躍され、そして将来、市議会議員や市長になって、彦岐市の振興発展をリードする人が出られることを心から願います。皆さん頑張ってください。



謝辞

勝本中学校 川上 陽子議員



今日は、彦岐のことについて深く考えることができ、とてもいい体験となりました。私たちは、中学校の生徒会活動の中で、よりよい学校にするために話し合いをし、意見やアイデアを出し合いながら活動をしています。うまくいかないこともあり、難しさを感じることもありますが、子ども議会の参加を通して、頑張っていこうと決意を新たにしました。これからも彦岐市民の一人として、自分たちができる身近なことから貢献できるようにしていきたいと思えます。ありがとうございました。



7月～9月会議で決めたこと



◆壱岐市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、個人の住民税の基礎控除等を改めるとともに、たばこ税率の改正を行った。たばこ税の税率を平成30年10月1日から3段階で引き上げる。

◆壱岐市串山海洋性公園条例の一部改正について

イルカパークを再整備し、入場料及び体験プログラム等利用料の上限の決定並びに、指定管理者制度活用により施設の適正な管理運営を行うため改正を行った。



イルカパーク

◆芦辺小学校屋内運動場改築工事（建築主体） 請負契約の締結について

鉄筋コンクリート造2階建ての体育館を改築する。

契約金額 2億3,112万円

契約の相手方 株式会社 吉川建設 代表取締役 吉川治輝



建設中の芦辺小学校体育館

◆市役所庁舎耐震改修工事（芦辺庁舎）建築工事請負契約の締結について

芦辺庁舎の耐震改修工事を行う。

（工事概要）鉄骨ブレース補強7箇所、鉄筋コンクリート造壁ふさぎ1箇所、
2階片持ち床補強4箇所、その他 外壁・防水等改修工事

契約金額 2億250万円

契約の相手方 株式会社 倉元建設 壱岐支店 支店長 橋本裕樹

◆公の施設の指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営について委託する。指定期間は、平成31年4月1日～平成36年3月31日までとする。

○壱岐市立一支国博物館

指定管理者：株式会社 パブリックビジネスジャパン 代表取締役 萩原 宣
（会社住所）熊本市南区江越1丁目14-10

○壱岐市ケーブルテレビ施設

指定管理者：光ネットワーク株式会社 代表取締役 陶山 和浩
（会社住所）熊本県阿蘇郡高森町大字高森980-8

◆人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い松永 敏之氏（勝本町）の再任と、現委員の退任に伴い、野口 慶子氏（郷ノ浦町）の
新任推薦を了承した。

平成30年度 補正予算

| | |
|-------------------|---------------|
| 一般会計の7～9月補正額計 | 6億1,400万円 |
| 特別会計の7～9月補正額計 | 2億2,561万9千円 |
| 一般会計+特別会計補正後の予算総額 | 371億7,662万3千円 |

○平成30年度各会計予算一覧

(単位：千円)

| 会計名 | 現計予算額 | 7月補正額 | 9月補正額 | 補正後予算額合計 |
|--------------|------------|-----------|---------|------------|
| 一般会計 | 27,486,800 | 344,400 | 269,600 | 28,100,800 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 4,352,948 | | 4,490,422 |
| | 後期高齢者医療 | 335,016 | | 335,016 |
| | 介護保険 | 3,545,770 | | 3,587,070 |
| | 下水道 | 377,734 | | 397,134 |
| | 三島航路 | 125,248 | | 125,248 |
| | 農業機械銀行 | 113,488 | | 140,933 |
| | 合計 | 8,850,204 | | 9,075,823 |
| 一般会計・特別会計の合計 | 36,337,004 | 344,400 | 495,219 | 37,176,623 |



どえな予算のあと？



郷ノ浦庁舎駐車場整備事業 3,132万3千円

郷ノ浦庁舎北側に購入した土地を、普通自動車19台、軽自動車1台が駐車できる駐車場にするため、造成工事・舗装工事を行う。

ブロック塀調査業務及び改修工事 総額 1,116万円

6月18日発生の大阪府北部地震で、ブロック塀が倒壊し児童の死亡事故が発生したことを受けて、基準に適合しない施設等のブロック塀調査及び改修事業を行う。

- ・保育所 6園 10箇所
- ・幼稚園 3園 4箇所
- ・小学校 16校 50箇所
- ・中学校 3校 13箇所



市内幼稚園のブロック塀



市内小学校ブロック塀

自治体 SDGs モデル事業 3,319万4千円 (地方創生支援事業費補助金)

IoT (様々なモノがインターネットを通じて相互に情報交換をする仕組み) や AI (人工知能) などの先進技術を農業に取り入れ、対話交流による技術の共有と学習、環境改善への応用を実現し、持続可能な地域循環モデルを構築する。

畜産競争力強化対策整備事業 7,334万6千円 (畜産競争力強化対策整備事業補助金)

畜産の収益性向上を図るために必要な家畜飼育管理施設等の整備を行う。

○牛舎3棟、堆肥舎2棟、管理棟1棟、附属施設などを整備する。

(国50%、県13.5%、市10%、事業主26.5%)

○繁殖雌牛導入34頭分の購入補助

- ・妊娠牛 1頭につき27万5千円
- ・繁殖牛 1頭につき17万5千円

議案と審議結果一覧表

| 開催月 | 議案番号 | 議 案 件 名 | 付託委員会 | 本会議採決結果 |
|--------|--------------------------------------|--|---------|----------|
| 7月 | 議案第52号 | 平成30年度吉崎市一般会計補正予算（第2号） | 省略 | 7/23 可決 |
| 8月 | 議案第53号 | 芦辺小学校屋内運動場改築工事（建築主体）請負契約の締結について | 省略 | 8/10 可決 |
| 9月 | 報告第10号 | 平成29年度公益財団法人吉岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 報告第11号 | 平成29年度吉岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 報告第12号 | 平成29年度株式会社吉岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 報告第13号 | 平成29年度一般財団法人吉崎市開発公社に係る経営状況の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 報告第14号 | 平成29年度一般社団法人吉岐市ふるさと商社に係る経営状況の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 報告第15号 | 平成29年度吉崎市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | — | 9/11 報告済 |
| | 議案第54号 | 吉崎市税条例等の一部改正について | 総務文教厚生 | 9/28 可決 |
| | 議案第55号 | 吉崎市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について | 総務文教厚生 | 9/28 可決 |
| | 議案第56号 | 吉崎市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について | 総務文教厚生 | 9/28 可決 |
| | 議案第57号 | 吉崎市串山海洋性公園条例の一部改正について | 産業建設 | 9/28 可決 |
| | 議案第58号 | 公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市立一支国博物館） | 産業建設 | 9/28 可決 |
| | 議案第59号 | 公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市ケーブルテレビ施設） | 産業建設 | 9/28 可決 |
| | 議案第60号 | 平成30年度吉崎市一般会計補正予算（第3号） | 予算特別 | 9/28 可決 |
| | 議案第61号 | 平成30年度吉崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | 総務文教厚生 | 9/28 可決 |
| | 議案第62号 | 平成30年度吉崎市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） | 総務文教厚生 | 9/28 可決 |
| | 議案第63号 | 平成30年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 産業建設 | 9/28 可決 |
| | 議案第64号 | 平成30年度吉崎市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号） | 産業建設 | 9/28 可決 |
| 認定第1号 | 平成29年度吉崎市一般会計歳入歳出決算認定について | 決算特別 | 9/28 認定 | |
| 認定第2号 | 平成29年度吉崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について | 総務文教厚生 | 9/28 認定 | |
| 認定第3号 | 平成29年度吉崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について | 総務文教厚生 | 9/28 認定 | |
| 認定第4号 | 平成29年度吉崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について | 総務文教厚生 | 9/28 認定 | |
| 認定第5号 | 平成29年度吉崎市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 産業建設 | 9/28 認定 | |
| 認定第6号 | 平成29年度吉崎市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について | 総務文教厚生 | 9/28 認定 | |
| 認定第7号 | 平成29年度吉崎市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について | 産業建設 | 9/28 認定 | |
| 認定第8号 | 平成29年度吉崎市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について | 産業建設 | 9/28 認定 | |
| 陳情第3号 | 吉崎市立小・中学校の教室に空調（冷房）整備設置を求める陳情 | 総務文教厚生 | 9/28 採択 | |
| 諮問第4号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 省略 | 9/28 了承 | |
| 諮問第5号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 省略 | 9/28 了承 | |
| 議案第65号 | 吉崎市役所庁舎耐震改修工事（芦辺庁舎）【建築工事】請負契約の締結について | 省略 | 9/28 可決 | |

※賛否（賛成、反対）のあった議案

○……賛成 ×……反対

| 議案名番号 | 山川 忠久 | 山内 豊 | 植村 圭司 | 清水 修 | 赤木 貴尚 | 土谷 勇二 | 久保田恒憲 | 呼子 好 | 音嶋 正吾 | 町田 正一 | 鵜瀬 和博 | 中田 恭一 | 市山 繁 | 牧永 護 | 豊坂 敏文 | 賛成 | 反対 | 結果 |
|---|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|----|----|----|
| 議案第58号 公の施設の指定管理者の指定について （吉崎市立一支国博物館） | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 欠席 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 | 4 | 可決 |

小金丸益明議員は議長のため採決には入りません。

【議案第58号】

賛成意見

- ・選定委員会で可としている。産業建設常任委員会でも十分に審議して可決した。

反対意見

- ・来年度からの博物館運営が順調に行えるか疑問。多額の税金を無駄にせず、よりよいサービスが出来ることを確認できないと賛同できない。
- ・選定された業者は、博物館等重要な施設の指定管理業務は皆無である。博物館に明るい未来が描けるのか。再公告して再公募すべき。
- ・収支決算書を見ると、市からの補助金が9割以上である。現有のスタッフで十分できるのではないか。指定管理ではなく市が直営で運営できるのではないか。



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

9月会議で付託された5議案と認定4件、陳情1件については、全て可決、承認及び採択した。

【主な質問】

Q 国保会計の法定外繰り入れを解消できた要因は？

A 1番の要因は医療費・保険給付費が減少した点、歳入が増えた理由ではない。

具体的には、高額医療費の減少、大規模な疾病の流行もなく、平成27年度にあった超高額な新薬等もなかった点と考える。

【委員会意見】

議案第55号、議案第56号の条例の一部改正においては、改正前の条例と改正後の違いを市民

に理解しやすいように説明を行うこと。

認定第2号・平成29年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算については、赤字が解消され法定外繰り入れを行わず決算ができています。今回の赤字解消の要因について十分な分析を行い今後の対策に活かすこと。

陳情第3号 壱岐市立小・中学校の教室空調（冷房）整備設置を求める陳情については、市長が行政報告にて壱岐市内小中学校普通教室へのエアコン（空調）設置を進めるとの報告があり、教育長も一般質問の答弁で具体的な設置計画を述べられており、本陳情と同一趣旨である。しかし、陳情内容においては趣旨と異なる文面があり、認められない部分がある。陳情の趣旨を了とし、採択すべきものとする。

産業建設常任委員会

9月会議で付託された5議案と認定3件については、全て可決、承認した。

【主な質問】

Q 一支国博物館については、現在の指定管理者がなぜ撤退したのか。1社しか応募がなかったのが心配である。

A 会社の方針で早くから撤退の申し出があった。応募は1社だったが、十分対応できると思う。

Q ケーブルテレビについては、アドレスの変更など利用者の手続きが必要となるのでは。現在の雇用は継続できるのか。

A メールアドレスにつきましては、新しい指定管理者から新たに配布する事になりますが、指定管理者が交代した後も暫く（一定）の間利用できるよう引継ぎの中で協議して参ります。

【委員会意見】

議案第58号の「一支国博物館の指定管理」については、1社だけの応募で、複数の応募から選定されなかったことを危惧するが、一定の手続きに基づいて選定されていること及び選定委員会意見を尊重し可決とするが、重要な案件については、経過等を議会に報告や説明をすること。

議案第59号の「ケーブルテレビ施設の指定管理」については、引き続き円滑に行い、市民へのサービス低下がないよう調整をし、雇用については継続雇用をすること。

認定8号の「水道会計決算認定」について、未集金の回収は担当課だけでは限界があるので、壱岐市全体として債権回収担当部署を設置する等の対策を取ること。

予算特別委員会

9月会議で付託された平成30年度一般会計補正予算について審査し、全会一致で可決した。

【委員会意見】

母子手帳アプリ導入事業では対応機器を持たない母親にも充分配慮されるように。また、包括的なサービス提供ができる壱岐市のオリジナルアプリの開発についても研究を願いたい。



決算特別委員会

9月会議で付託された平成29年度一般会計歳入歳出決算について審査し、全会一致で可決した。

歳出では、総務費・衛生費・商工費・文化財保護費について事前通告による質疑が行われたほか、関連質疑も多く、活発な質疑、答弁が交わされた。総務費の防犯カメラ設置工事補助金では、運用面での質疑もあり比較的平和な壱岐市での防犯対策の一環を知ることができた。また、環境衛生費として野犬捕獲業務委託での捕

獲数の報告があり、罾や睡眠薬入りエサで野犬を捕獲し頭数減少に努めていると説明された。事前通告することで、明確な説明を引き出すことが出来た。

【委員会意見】

市税、市営住宅使用料、保育所入所負担金等の収入未済については、公平性、公正性の観点から、適正な債権管理と積極的な徴収対策を講じること。

■平成29年度決算額

(単位：円)

| 区分 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引額 | 翌年に繰越すべき額 | 実質収支額 | |
|--------------|----------------|----------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | 25,241,087,233 | 24,479,169,839 | 761,917,394 | 328,844,724 | 433,072,670 | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 5,329,268,927 | 5,070,488,308 | 258,780,619 | 0 | 258,780,619 |
| | 後期高齢者医療事業 | 321,337,185 | 318,624,053 | 2,713,132 | 0 | 2,713,132 |
| | 介護保険事業 | 3,480,108,513 | 3,420,171,057 | 59,937,456 | 0 | 59,937,456 |
| | 下水道事業 | 487,300,844 | 487,164,974 | 135,870 | 0 | 135,870 |
| | 三島航路事業 | 125,241,657 | 125,241,657 | 0 | 0 | 0 |
| | 農業機械銀行 | 152,051,948 | 124,606,206 | 27,445,742 | 0 | 27,445,742 |
| | 特別会計の合計 | 9,895,309,074 | 9,546,296,255 | 349,012,819 | 0 | 349,012,819 |
| 一般会計・特別会計の合計 | 35,136,396,307 | 34,025,466,094 | 1,110,930,213 | 328,844,724 | 782,085,489 | |

○水道事業

(単位：円)

| 区分 | 収入 | 支出 |
|-----|-------------|-------------|
| 収益的 | 962,185,386 | 920,904,344 |
| 資本的 | 265,793,667 | 446,326,389 |

■平成29年度未収金一覧

(単位：円)

| 未収金内訳 | 29年度 | 28年度 | 増減額 |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 市税 | 256,198,845 | 264,945,099 | △8,746,254 |
| 分担金・負担金 | 6,218,233 | 6,940,681 | △722,448 |
| 使用料・手数料 | 29,033,707 | 26,991,227 | 2,042,480 |
| 財産収入 | 3,785,051 | 3,856,151 | △71,100 |
| 諸収入 | 29,250,914 | 30,425,878 | △1,174,964 |
| 国民健康保険税 | 252,790,663 | 264,480,056 | △11,689,393 |
| 後期高齢者医療保険料 | 4,972,784 | 3,676,256 | 1,296,528 |
| 介護保険料 | 44,520,563 | 41,311,407 | 3,209,156 |
| 下水道使用料 | 1,095,630 | 963,290 | 132,340 |
| 農業機械銀行使用料 | 32,118 | 135,625 | △103,507 |
| 合計 | 627,898,508 | 643,725,670 | △15,827,162 |

○水道事業

(単位：円)

| 未収金内訳 | 29年度 | 28年度 | 増減額 |
|-------|------------|------|-----|
| 水道料金 | 89,414,939 | — | — |

水道事業は、平成29年度に簡易水道及び上水道が統合したため、29年度分のみ記載



一般質問

8人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



音嶋 正吾 議員

質問 権限を私物化する幹部職員

答 そういったことはない

音嶋 市職員の地位を利用して、壱岐市を經由することなく壱岐振興局へ要望書を提出し、費用対効果の観点、公共性の観点から見ても、税金の無駄遣いに等しい工事を実施している。

建設部長 県の所管する道路であり、要望書が市を經由して提出された事実は確認できない。

音嶋 市職員の権力行使は言語道断である。権限と権力の行使を履き違えぬようにすべき。

市長 該当する道路工事は県の工事であり、なぜ市に問うのか。また、市職員であることでの権力の行使はしていない。

指定管理者制度について

音嶋 一支国博物館の指定管理者の公募に、乃村工芸社がどういう意図でエントリーしなかったのか。

指定管理のあり方に対して、市側が指定管理者に丸投げ状態になっているのではないかと。

企画振興部長 乃村工芸社からは、経営上の判断として今回は応募しないと聞いている。特に人材確保が難しいという状況であるとのことであった。また、博物館の運営を丸投げにはしていない。観光商工課、文化財課、県埋蔵文化財センター及び指定管理者で行う定例協議会を年間24回開催している。管理運営の課題や問題点を共有し、博物館の管理運営がうまくいくように検討している。

音嶋 ケーブルテレビについても新しい指定管理者になった場合、地元雇用者の雇用環境が脅かされる。どういうふうに配慮されているのか。

企画振興部長 新たな指定管理の候補者からは、地元採用は現在雇用中の職員を優先的に選考対象としたいとの回答を得ており、今後、引き継ぎの中で具体的な協議を進めていきたい。

市長 希望する方については、引き続き、指定管理の職場で仕事ができるように最大限の努力をする。



鵜瀬 和博 議員

質問 図書館機能の充実を

答 整備検討委員会を設置し、整備計画策定する

鵜瀬 市内には郷ノ浦・石田図書館がある。特に、郷ノ浦図書館は老朽化が進み、狭隘のため書棚、閲覧スペースも不足し、バリアフリー機能もない。今後、市民による市民のための施設に整備するため協議会を設置し、十分協議すべき。

教育次長 図書館法に基づき早急に図書館協議会を設置し、市民も交えた整備検討委員会を立ち上げ、第3次市総合計画に反映したい。

鵜瀬 図書館情報発信にケーブルテレビの活用を。

教育次長 活用し、発信する。

鵜瀬 バーコードによる蔵書管理を学校、公民館に拡大し、市



郷ノ浦図書館

民の利便性向上を。

教育次長 バーコード管理拡大や時間外返却等検討する。

鵜瀬 喫茶室や買い物等の機能を備えたコミュニティ複合施設に。

教育次長 魅力ある図書館の整備、充実を目指した図書館整備基本計画を策定する。

鵜瀬 図書館を含めた郷ノ浦市街地の再開発、中心市街地活性化計画を早急に策定すべきでは。旧交通ビルの解決を。

市長 様々な課題はあるが、市民の安全安心を守り、郷ノ浦市街地活性化計画策定に向け、一步踏み出す。

磯焼け対策は産学官一体で

鵜瀬 観光の目玉のウニが例年になく不漁で高騰し、漁業者、観光関係者も大変苦慮し、危機的状況。今後の対策は。

農林水産部長 本市水産業の大きな問題であり、全国的な問題。今後も国、県、各漁協、漁業者と連携を密にし、磯焼け、藻場造成に積極的に取り組む。

鵜瀬 ウニを目玉とした今後の観光PRの取組は。

企画振興部長 PRを継続する。



植村 圭司 議員

質問 「まちづくり」は市民に開かれた場で議論を

答 幅広い市民の意見を入れる

植村 市の最上位計画「第二次市総合計画」と「まち・ひと・しごと総合戦略」が中間年を迎えたが、目標に対する達成状況は。さらに次期計画の策定方針を伺う。6月に政府から選定を受けた「SDGs^(注1)未来都市」の取り組み方、審議の方法、自治基本条例の制定の目的を伺う。

企画振興部長 目標達成率は全体平均で総合計画が81%、総合戦略が69%。次期総合計画には総合戦略を統合しSDGs達成に向けた政策も反映させる。審議には幅広い市民の意見を入れる。自治基本条例を年度内に議会に上程したい。

植村 「子育て部門」の目標達成率はどうか。審議委員には女性や障がい者の参画を。SDGsの島内外への啓もう、外部有識者の助言が必要。自治基本条例制定は、住民の納得する内容にしてほしい。

企画振興部長 子育て部門は国の施策もあり、担当

部局で努力しているところ。SDGsは出前講座などをする。

市長 行政だけでは手に負えない地域課題がある。地域の皆様と行政が手を取り合っていく基本が自治基本条例。ぜひ年度内の成立に向けて取り組みたい。

公園の壊れた遊具対策

植村 弁天崎公園などに壊れた遊具が長期間放置されている。対策は。

建設部長 市内全50施設、222遊具のうち、5施設9遊具が使用禁止状態。修繕可能なものは修繕、不可は撤去が基本。撤去後の再整備は検討する。市民に丁寧な案内表示に努める。

植村 定住移住や交流人口拡大の政策が進む一方で、足元の政策がおろそかになってはいけない。善処していただきたい。

(注1)

SDGs (エス・ディ・ジーズ)
国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals) の略
国際社会全体の開発目標として、2030年を期限に「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すこと。



久保田恒憲 議員

質問 みなとオアシス事業は他市も取り組んでいる

答 沓崎市も取り組みたい

久保田 みなとオアシス登録を厳原港、比田勝港、五島の福江港も登録しているが沓崎市はしないのか。

農林水産部長 国土交通省のこの制度は、本市を全国に発信するよい機会と捉え、関係機関や関係者と協議して、郷ノ浦港を中心に進めたい。

久保田 市長の考えは。

市長 取り組めるものはすぐにでも取り組みたいと思う。

森林の環境整備をすすめるべき

久保田 林野庁が勧める森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用すれば、地域住民が荒れた森の整備や道路にはみ出す雑木や竹を除去できる。沓崎市も積極的に取り組むべき。

農林水産部長 沓崎市でも取り組んではいるが、情

報提供が十分ではなかった。広報誌や自治会回覧等で周知したい。

市長 提案の事業が官民協働の基礎となると思うので、貴重な意見として受け取る。

芦辺港ジェットfoil待合所について

久保田 芦辺港のジェットfoil待合所の外装工事が中途半端になっている。平成25年、私の一般質問で市長は改修工事を約束されたと思うが。

市長 当時、フェリーターミナルとの一元化を進めていた状況と事業費の関係もあり部分改修で終わっていた。しかし、ターミナルの一元化はかなりの時間がかかることが明白なので、必要最小限の対応をしたいと思う。



芦辺港ジェットfoil待合所



市山 繁 議員

質問 離島で一番沓岐いき島づくり構想について

答 島のすばらしさPRできるような施策の展開に努める

市山 沓岐市の観光名所は、国指定古墳群、日本遺産、猿岩、イルカパーク等、また多くの文化もある。移住者・定住者は、日常生活に欠かせない産業・教育・福祉・医療の充実した地を望む。沓岐の良い点は強くPRし、負の点は見直して取り組むべき。

企画振興部長 観光情報、先輩移住者の暮らしの紹介、子育て支援策などを掲載した島へ移住する場合のガイドブックを制作し、移住希望者へ渡している。島のすばらしさを市民一人一人がPRできるような施策の展開に努める。

沓岐市民間賃貸住宅建設の要件について

市山 応募状況について今年度の事業であるが、予定の戸数を一人の申請者が建設する場合、今年度の募集は終了となるのか。複数の場合は調整するのか。

企画振興部長 2社から申請があったので審査し、本年度は4戸の建設を認定。複数申請の場合については順番で次年度受付とはせず、毎年募集を行う。

市山 床面積の下限が30㎡だと狭いのでは。

企画振興部長 まずは単身者向けを予定している。来年度以降に反映する。

市山 移住者の入居は建設後の募集とするのか。

企画振興部長 賃貸住宅を希望する移住者に優先的に入居してもらう。募集時期・内容については事業者の判断となる。

高齢者の見守り支援について

市山 全国的に高齢化社会となり、島外に住む子どもが高齢の親の見守りのため度々帰省している。航路運賃割引か、福祉面での支援策を考慮されたい。

総務部長 対象者の把握や基準をどうするのか。準島民の対象範囲拡大について協議していく。





赤木 貴尚 議員

質問 小中学校普通教室の空調設備設置について

答 来年度(平成31年度)6月末までに全校設置

赤木 市長行政報告で苓岐市内小中学校普通教室へのエアコン設置を進める報告があったが具体的な設置計画は。

教育長 小中学校普通教室でエアコン未設置は156教室。現在、学校現場の状況、意向予備調査に取り掛かっておりエアコン設置実施計画等は今後、補正予算を提案する。来年の夏に、子ども達が快適な学習環境になるよう進める。議会、市民皆様のご協力、ご理解をお願いしたい。

赤木 苓岐市立の学校として環境統一が必要。幼稚園にもエアコン設置が必要だと考える設置計画は。

教育長 小中学校設置後に計画する。

赤木 苓岐市指定避難所で避難者収容人数の多い「大谷体育館」「石田スポーツセンター」へエアコン設置が行われていない、避難所として整備が必然

と考えるが。

総務部長 国や県の補助制度の整備の動向を探りながら対応する。

安心・安全なまちづくりについて

赤木 大規模災害時に島外援助隊等に対し様々な情報がわかる様にオープンデータ化が必要と考えるが。

消防長 現在、消防本部独自の取組でインターネットを活用した消防水利マップの使用に関して制約等を調査中。

赤木 データ化した情報源の迅速な活用に、タブレット端末の配備をしては。

消防長 現状、配備済み。

赤木 苓岐市の飲料水用車両の老朽化に伴い、消火作業、飲料水と活用できる消防車両の配備を検討しては。

消防長 考えていない。

赤木 苓岐市の給水車の更新についての考えはあるか。

建設部長 購入から35年経過し老朽化し、更新時期もきているので次年度に向け検討していきたい。



山内 豊 議員

質問 苓岐市観光大使が行う役割とは

答 観光宣伝やまちづくりに対してPR、提言を行う

山内 平成18年に要綱を整備して、これまでに任命した大使の方は何名おられるのか。そして、大使の方々がやっているイベント告知や提供などの情報は、市民の方々には届いているのか。

企画振興部長 これまでに10名の方を任命している。その中には、俳優の苅谷俊介さんや政治学者の福岡政行さんがおられる。市が主催するイベント等への協力依頼や案内まではいたってなく、あくまで自発的な活動に任せている。

山内 3月に任命されたHappyさんが大きなイベントを行うとの情報があるが、未だに不透明である。ホームページにも大使の掲載はなく、位置づけが難しいと考えるが。

企画振興部長 今回のHappyさんのイベントに関しては、興行であることから、周知は主催者に任せ

ている。ホームページについては、市の観光PRにつながることから、今後掲載をしていきたいと思っている。

被災市町村での職員の派遣について

山内 被災地での行動マニュアルはあるのか。また、派遣職員へのアフターフォローは行っているのか。

市長 基本、被災市町村の命令下に入ることから、本市の指揮は及ばないが、終了後は、家族、仲間などと必要な時間を十分に持ってもらうなど配慮を行っている。本市においては、支援を受けるマニュアルの作成がなかったため、万事に備え、これから早急に整備を進めていく。

苓岐市観光大使(敬称省略)

| | | |
|---------------------|---------------|----------------|
| はやしだ 林田ひろみ | かりや 苅谷 俊介 | ふるまや 古厩 智之 |
| みやもとまりこ 宮本真理子 | つしま 対馬 孝誠 | ふくおか 福岡 政行 |
| こさか 小坂 文乃 | ふじ 富士ゼロックス | さきはら 笹原 なおき |
| まえだ 前田 紗智(Happy) | | |



清水 修 議員

質問 小さな楽園拡大連携プロジェクトの評価が低いのはなぜ

答 県のサポートセンターを通さずに直接壱岐市窓口相談するから

清水 平成28年度地方創生交付金の検証結果において、この事業だけが評価がよくないのはなぜ。事業の目的や原因と見直しを問う。

企画振興部長 人口減少や高齢化が進む中、危機感を抱く地域住民が立ち上がり、解決に向かう有能な外部人材を呼び込んで応援する事業である。評価が低い原因は、県の窓口相談せず、壱岐市の窓口で直接移住相談をするため、県での実績がゼロで目標達成できず。見直し改善としては、県のサポートセンターと連携し、県主催事業への情報発信を強化する。移住者増加のためにも持続可能なまちづくりを目指すSDGsとの連携も考えていく。

教育環境整備への考え方について

清水 市内小・中学校の普通教室へのエアコン設置推進の変更、スクールバスの運行見直しの考えに再

検討はないかを問う。

教育長 エアコン設置については、地球上における予測できない変化に対し、文科省が4月に学校環境衛生基準の一部改正を50年ぶりに行い「教室内の温度が28度以下を適温」と示したこと、近年続く猛暑での子どもの身体に与える影響を考慮し、自然の流れの中での考え方にたどりついている。スクールバスについては、次年度から芦辺中学校が那賀に移転することに伴う通学検討会議を開催したが、見直しの意見は出されなかった事からも、これまでの運用規則を継続することになる。

安心・安全のまちづくりについて

清水 門口までの道幅が狭い等救急車が自宅まで入れないときの救急搬送の対応を問う。

消防長 通報のとき現場の状況をよく聞いて、PA連携という「救急隊と消防隊が同時に出動」して対応。初めに救急隊が応急処置をし、その後に消防隊がストレッチャー等で搬送する。

建設部長 市道の拡幅工事では要望箇所の全面工事では多額の予算を要するので、優先する箇所を地元と協議し、局部改良工事を検討して不可能道路の減少に努める。



追跡

あん質問などえーんになった？

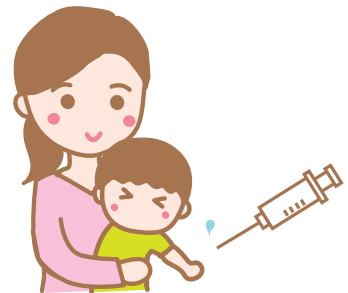
平成30年6月会議から

質問：インフルエンザ予防接種について

生後6か月から中学生の子どもには1回につき1,000円の助成があるが、子どもの数が多い家庭では自己負担が高額になり、予防接種をためらいがちになる。第2子以降の助成の見直しを。

その後：助成額の見直しを行いました。

子育て家庭の病気の予防と経済的負担の軽減を目的に、今年10月から始まるインフルエンザ予防接種について、乳幼児から中学生までの対象者全員、現在1回につき1,000円の助成を2,000円に増額します。



玄海原子力発電所を視察しました

平成30年9月21日

今年6月までに再稼働した九州電力玄海原子力発電所3、4号機の安全対策の実施状況を確認するため、現地視察をしました。

【内 容】

発電所内の施設等をバスで巡り、所長をはじめとした職員から、安全対策と事故時対応訓練の実施状況等について説明を受けました。

【主な視察場所】

代替緊急時対策所、タービン発電機、使用済燃料ピット、ディーゼル発電機室、非常時用貯水池、職員訓練センター、防火帯など

【説明内容】

福島第一原子力発電所事故に伴う、新規制基準に対応（津波や竜巻対策など重大事故防止策を強化）していることや、重大事故発生時の設備・手順の整備状況を説明してもらいました。

【壱岐市議会からの要望】

壱岐市議会は再稼働に反対決議をした立場であることを明確にしたうえで、今後の安全対策を厳重にしてもらうよう要請。また、壱岐市内の各種団体、自治公民館等に対しても、九州電力の職員が直接、安全対策等について説明する機会を設けるよう要請し、応じる旨の返事をいただきました。



市民の声

「議会だより第58号」クイズ
応募者よりいただいたご意見
ご感想です。

一般質問読ませていただきました。
私も郷ノ浦に住んでいますが、お店
もだんだん閉まって淋しい感じです。

移住定住はいいことですが、
なかなか進んでないよう
ですね。

いつも楽しみに読ませていただい
ています。壱岐の現状がわかりやすく
書かれていますので読みやすいです。
一進一退の印象を受けますが、本来
の壱岐の良さである豊かな自然や地
域力を武器に、これからも市民のた
めの政策をよろしくお願いします。

嫁に来て17年で初めて花火大会が
見れました。壱岐市の主催で、ぜ
ひ来年もお願いします。

実りの秋

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



初山小学校運動会

Q1 平成30年10月1日より
〇〇〇税率が上がった。

Q2 子ども議会は〇月〇日
に開催された。

Q3 〇〇〇パークに新たに体
験プログラムを創出

第58回クイズの答え

- ①「160」周年
- ②「宝」くじ
- ③長寿命

第58回クイズの当選者

徳村信之介 様
山口 祈 様
田口 豊子 様
稲本 節子 様
森元 繁子 様
おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。
議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお
書き添えください。
ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。
正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお
贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521
壱岐市勝本町西戸触182-5 壱岐市議会事務局宛

《しめきり》 平成30年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

清水修

あ、あれほどの猛暑も過ぎ去り、日本列島の災害も過ぎ去り、早いものは季節は秋です。半期、10月、11月、12月の下。最新、10月、11月、12月の下。最後、10月、11月、12月の下。節目、10月、11月、12月の下。青いNHKの朝ドラも「半分青い」から「まんぷく」に。バトンタッチ、多くの失敗を繰り返しながら夫婦でイースタントラメンを生み出す物語だそう。9月議会でも次年度以降に、希望の施策「工」に、コンクリートの再生等が、協議されました。このままの成果を土台に、市民の皆様のご理解とご意見をもとに、郷土の未来を明るくしよう!

議会広報特別委員会
委員長 植村圭司
副委員長 久保田恒憲
委員 山内忠久
山内忠久
清水修
土谷修
呼子修
牧好二

お知らせ

壱岐市ホームページ
<https://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議会事
務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の金品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。
市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。
壱岐市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521
長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5
TEL : 0920-42-1114
FAX : 0920-42-0096
【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>



壱岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。